

1	公開授業実施日時	2019年2月22日（金）9:30～10:20
2	場所	京都教育大学附属桃山中学校 3年1組教室
3	対象	3年1組 32名
4	授業者	三間 英孝
5	島名	グローバル・イシュー
6	単元名	国際社会の課題と私たちの取り組み
7	関連する教科・領域	社会科 公民的分野
8	単元の目標・ねらい	持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、自分の考えをまとめる。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、社会構造やイデオロギーにも目を向け、より公正な持続可能な社会の実現を目指し、多面的・多角的に解決策を考えることができる。 ・現状に甘んじることなく、常に新しいものを求めて工夫改善を心掛け、課題解決にのぞみ、解決にむけた活動に主体的に参画しようとする。
10	単元の評価規準【教科・領域として】	<p>【知識および技能】 世界や日本の貧困の問題の現状を理解し、それを解決するために経済的・技術的な協力が大切であることを理解する。</p> <p>(B評価) 資料から世界や日本の貧困の現状を理解し、内的な要因だけで解決が困難であり、経済的・技術的な協力が不可欠であると理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 持続可能な社会を構築するために、貧困の問題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを説明したり、論述したりすることができる。</p> <p>(B評価) 貧困の問題を様々な立場から多面的・多角的に考察し、その解決策を構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 貧困の問題を解決するために、自らの生活を見直すとともに、現在及び将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべきこととして、課題を考えていく態度を養うことができる。</p> <p>(B評価) 貧困の問題を自分のこととして捉え、主体的に課題を解決しようとしている。</p>
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、社会構造やイデオロギーにも目を向け、より公正な持続可能な社会の実現を目指し、多面的・多角的に解決策を考えることができる。 ・現状に甘んじることなく、常に新しいものを求めて工夫改善を心掛け、課題解決にのぞみ、解決にむけた活動に主体的に参画しようとする。
12	単元計画	<p>第1次 現代世界の戦争と平和</p> <p>第2次 世界の軍縮と日本</p> <p>第3次 日本の平和主義と国際貢献</p> <p>第4次 現代の貧困と多様化する世界（本時）</p> <p>第5次 資源・エネルギー問題</p> <p>第6次 地球規模の環境問題</p> <p>第7次 持続可能な社会を目指して</p> <p>第8次 未来の地球をともに考える</p>

13	本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の貧困の問題の現状を理解し、それを解決するために経済的・技術的な協力が大切であることを理解する。 ・持続可能な社会を構築するために、貧困の問題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを説明したり、論述したりすることができる。 ・貧困の問題を解決するために、自らの生活を見直すとともに、現在及び将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべきこととして、課題を考えていく態度を養うことができる。
14	本時の展開	<p>≪別紙指導案を参照≫</p>
15	グローバル・スタディーズとしての特徴	<p>世界的な課題である貧困の問題を、身近な日本の貧困を扱うことで自分事として捉え、課題解決できるようにした。</p>
16	授業者から一言	<p>世界的な課題を生徒たちがいかに身近に捉えるかに工夫があります。子ども食堂のインタビューで生徒たちの目つきが変わりました。</p>

社会科（グローバル・イシュー）学習指導案

附桃中3年1組

指導者名 中学校 三間 英孝

1. 単元名「国際社会の課題と私たちの取り組み」
2. 授業の構想（全8時間／4時間目）

公民科の「政治・経済」分野において、貧困は南北問題や国際経済格差の是正について捉えられることが多かったが、日本において若年層の貧困も看過できない問題となっている。世界規模の課題から身近な問題に落とし込むことで、貧困という問題の相互関係や因果関係を問い続け、様々な価値観を持った人と対話し、協働して課題を解決しようとする姿勢を培うことができると考える。

学習の流れ

- ・紛争の背景を理解する。
- ・世界平和の基盤を築くための日本の果たすべき責任を考える。
- ・貧困の原因や解決策を考える。
- ・世界の資源・エネルギーの問題点に目を向け、エネルギー対策を考える。
- ・地球規模の環境問題の原因と影響について考える。
- ・50年先の地球の姿を想像し、持続可能な社会をつくるための取り組みを考える。

3. 本時の目標

【社会科としての目標】

知識および技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
世界や日本の貧困の問題の現状を理解し、それを解決するために経済的・技術的な協力が大切であることを理解する。 (B評価) 資料から世界や日本の貧困の現状を理解し、内的な要因だけで解決が困難であり、経済的・技術的な協力が不可欠であると理解している。	持続可能な社会を構築するために、貧困の問題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを説明したり、論述したりすることができる。 (B評価) 貧困の問題を様々な立場から多面的・多角的に考察し、その解決策を構想し、表現している。	貧困の問題を解決するために、自らの生活を見直すとともに、現在及び将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべきこととして、課題を考えていく態度を養うことができる。 (B評価) 貧困の問題を自分のこととして捉え、主体的に課題を解決しようとしている。

【グローバル・スタディーズとしての目標】

- ・課題に対し、社会構造やイデオロギーにも目を向け、より公正な持続可能な社会の実現を目指し、多面的・多角的に解決策を考えることができる。
- ・現状に甘んじることなく、常に新しいものを求めて工夫改善を心掛け、課題解決にのぞみ、解決にむけた活動に主体的に参画しようとする。

4. 本時の展開

学習活動	子どもの姿	学習活動と支援の留意点
<p>1 ソマリアでの海賊活動はなぜ発生しているのかを考える。</p> <p>○ 資料のような活動はなぜおこなわれているのでしょうか。</p>	<p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金になるから。 ・貧しくて、生きるためには他にできないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料(ソマリアの海賊)を提示。 ・現代にも海賊がいることに気づかせ、そのような行為を行わなければならない理由を予想させる。 ・貧困が海賊のような犯罪行為を起こしてしまうこと、貧困を解消することが世界の課題であることを認識させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 現代の貧困の問題を解決する手だてを考えよう。 </div>		
<p>2 貧困の問題の原因を考察する。</p> <p>○ これまで学習してきたことをもとに、世界の貧困問題の原因を考えましょう。</p> <p>3 貧困の問題を解決できたと考える基準を決める。</p> <p>○ 「持続可能な社会」の観点から、貧困問題の解決した姿を考えましょう。</p> <p>4 貧困の問題の解決策を考える。</p> <p>○ 貧困の問題の解決策を考えましょう。</p>	<p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給料が低いから。 ・人口が急増したから。 ・経済が発展していないから。 ・教育を受けることができないから。 <p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民が幸せになる。 ・給料が生きていく上で最低限保障される。 <p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進国が経済的に支援する。 ・先進国の企業が工場や事務所をおく。 ・教育機関の充実を図る。 ・フェアトレードなどの労働者に適正に賃金が払われる制度を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景も含めて、既習事項から貧困の原因について考えさせる。 <p>・抽象的な回答ではなく、具体的に考えるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「募金」などの一時的な解決策を考えるのではなく、問題の本質を見極めるよう指示する。 ・発展途上国の貧困の構造のどこにテコ入れすることが解決につながるのか、現在と未来の私たちがどのような支援ができるのかを考えさせる。 ・貧困の構造のどこを改善するのが明確になるようにまとめさ

<p>5 グループで貧困の解決策について意見をまとめる。</p> <p>○ 班で解決策について意見を出し合い、効果的な解決策を提案しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4人班をつくり、机を合わせる。 ・班の全員の意見を聞き、班の貧困の解決策について合意形成を行う。 	<p>せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が貧困の立場であったならどのような支援がほしいかなど、立場を変えて考えるよう促す。 ・複数の解決策を提示することも認める。
<p>6 私たちと世界の貧困問題のつながりを考える。</p> <p>○ 私たちの生活と世界の貧困とはどのようなつながりがあるでしょう。</p> <p>7 身近な問題である日本の若者の貧困について考える。</p> <p>○ なぜ日本にも貧困に苦しむ人が多いのか、考えましょう。</p> <p>8 学習課題が達成されたかを自己評価する。</p>	<p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接的な関係はない。 ・募金をしようと思う。 ・ニュースで日本の子どもの貧困率が高いと言っていた。 <p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規雇用が多く、生活のために長時間働かざるを得ないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困の問題を他国のこととしてのみ捉えるのではなく、身近なところにも課題があると気づかせる。 ・子ども食堂のインタビュー動画を提示する。 ・日本の社会構造に原因があることに気付かせる。